

## 第18回放射光学会年会・合同シンポジウム学生会員発表賞審査結果

プログラム委員長 鎌田雅夫 (佐賀大学シンクロトン光応用研究センター)

放射光学会年会・合同シンポジウムでは、次世代の放射光科学を担う学生諸君を激励する観点から学生会員発表賞を設けてきました。先に佐賀県鳥栖市で開催された第18回放射光学会年会・合同シンポジウムでもその趣旨に従い、学生会員発表賞の授与を継続することに致しました。選出方法に関しても前回と同様の方法を踏襲して行ないました。その結果以下の方々が学生会員発表賞を受賞されることとなりました。いずれの受賞者も、発表の内容やプレゼンテーションの仕方ならびに質問への受答えなど、素晴らしいものであったと思います。放射光分野では多くの方々の協力、特に先生方や先輩諸氏の日頃の良き指導が無ければ、そのような素晴らしい成果は達成出来ないと想像される反面、本人達自身の努力と奮闘が幸運を呼び寄せたものと思います。また一方、残念ながらわずかの得票差のために賞には選ばれなかった学生諸君の発表にも同等以上の内容や見るべきものが本当に多くあり、質的量的にも放射光分野での若手層の成長を実感することができました。いずれも今後益々勉強ならびに研究に研鑽されて、将来の放射光科学の発展に貢献されることを期待します。

なお、選出方法は、従来の方法を踏襲致しましたが、それは次のようなものでした。

- 1) 評議員の先生方、及びプログラム委員の先生方には特別審査員として1票5点の投票シールをお渡ししました。
- 2) 一般の会員の方には一般審査員として一票1点の投票シールを年会受付でお渡ししました。
- 3) 学生会員発表賞に該当すると思う各ポスター、及び口頭発表に対して、会場に用意したボードにシールを張りつける形で投票して頂きました。
- 4) 上記の投票結果を実行委員会で集計し、その得票を尊重しながらプログラム委員会で学生会員発表賞の該当者を放射光学会行事幹事(本年会組織委員長)に推薦しました。
- 5) その推薦を受けて、放射光学会幹事会で最終的な受賞者を決定して頂きました。

このような方式を実施するに当たって、全く問題が無いわけでは有りませんでした。たとえば、委員と一般会員とで点数差をつける点、オーラルとポスターの違い、パラレルセッションによる発表での審査が可能か、ポスター発表時間が審査に十分足りるか、日程の影響、最適受賞者数の決定法、得票ボードを公開する点など、今になって考えれば要検討課題が多くありました。幸い、8日と9日の投票数も、8日のオーラル発表(9人)とポスター発表(53件)への投票総数は96で、9日のオーラル発表(9人)とポスター発表(40件)への投票総数の103とほぼ同数になり、日程の影響は特に有りませんでした。学生会員発表賞をより良くするためには、それなりの検討が必要であったと思われます。学生会員発表賞の実施に当たっての関係各位ならびに皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、これらの点を反省しつつ、私の審査報告とさせていただきます。

### 学生会員発表賞受賞者

受賞者：篠原佑也氏 (オーラル 発表番号：8A07)

題目：二次元 SAXS・WAXS による n-Hexadecane 結晶化過程に及ぼす界面効果の検討

発表者：○篠原佑也<sup>1</sup>, 上野 聡<sup>2</sup>, 萱島堅太郎<sup>1</sup>, 小林 功<sup>3</sup>, 中嶋光敏<sup>3</sup>, 雨宮慶幸<sup>1</sup>

所属：<sup>1</sup>東大院新領域, <sup>2</sup>広大院生物圏科学, <sup>3</sup>食総研反応分離

受賞者のコメント

この度は、研究成果を発表させて頂く場を与えていただくだけでなく、学生会員発表賞をも頂き、大変光栄に思っております。指導して頂いた先生方や共同研究者の皆様に感謝するとともに、今後より一層精進して研究生活を送っていききたいと思います。ありがとうございました。



受賞者：島雄大介氏（ポスター 発表番号：9P122）

題目：臨床を目指した X 線暗視野関節撮影

発表者：○島雄大介<sup>1</sup>，杉山 弘<sup>1,2</sup>，兵藤一行<sup>2</sup>，国定俊之<sup>3</sup>，安藤正海<sup>1,2</sup>

所属：<sup>1</sup>総研大，<sup>2</sup>PF，<sup>3</sup>岡山大

受賞者のコメント

臨床応用を目指した本研究の成果を評価していただき、学生会員発表賞を受賞できたことを、誠に光栄に思います。ご指導、ご協力いただいた先生方にお礼を申し上げたいと思います。これを励みに、関節撮影が静注冠動脈造影法に次ぐ第二の放射光の臨床応用例となるよう、さらなる努力をしていきたいと思ひます。



受賞者：谷内敏之氏（オーラル 発表番号：9C06）

題目：光電子顕微鏡を用いた界面ナノ構造のイメージング

発表者：○谷内敏之<sup>1</sup>，脇田高德<sup>2</sup>，鈴木基寛<sup>2</sup>，河村直己<sup>2</sup>，高垣昌史<sup>2</sup>，小嗣真人<sup>3</sup>，佐藤平道<sup>4</sup>，若山貴行<sup>4</sup>，小林啓介<sup>2</sup>，尾嶋正治<sup>1</sup>，秋永広幸<sup>4</sup>，小野寛太<sup>5</sup>

所属：<sup>1</sup>東大院工，<sup>2</sup>JASRI，<sup>3</sup>HiSOR，<sup>4</sup>産総研，<sup>5</sup>KEK-PF

受賞者のコメント

栄えある賞をいただくことになり大変うれしく思います。多くの先生方また共同研究者の方々からご指導をいただいたの受賞となりました。ありがとうございました。また、本研究を評価していただいた方々にも御礼申し上げます。今後より一層の努力を重ねて、さらなる飛躍を目指していきます。



受賞者：林雄二郎氏（ポスター 発表番号：9P110）

題目：時間分解 X 線回折法の開発と半導体結晶の動的変形の測定

発表者：○林雄二郎<sup>1,3</sup>，佃 昇<sup>2</sup>，蔵元英一<sup>2</sup>，田中義人<sup>3</sup>，石川哲也<sup>3</sup>

所属：<sup>1</sup>九大総理工，<sup>2</sup>九大応力研，<sup>3</sup>SPRING-8/理研

受賞者のコメント

この度はこの様な賞を頂き大変光栄に存じております。本研究に関してご指導ご協力頂いた共同研究者の皆様、特に理研 X 線干渉光学の石川哲也主任及び田中義人先任研究員には大変お世話になりましたことを厚く御礼申し上げます。一層精進してまいりますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



受賞者：藤原秀紀氏（オーラル 発表番号：8B05）

題目：Nd<sub>1-x</sub>Sr<sub>x</sub>MnO<sub>3</sub> の高分解能軟 X 線光電子分光

発表者：○藤原秀紀<sup>1</sup>，関山 明<sup>1</sup>，東谷篤志<sup>1</sup>，山崎篤志<sup>1</sup>，恒川雅典<sup>1</sup>，入澤明典<sup>1</sup>，今田 真<sup>1</sup>，室隆桂之<sup>2</sup>，野田耕平<sup>3</sup>，桑原英樹<sup>3</sup>，十倉好紀<sup>4</sup>，菅滋 正<sup>1</sup>

所属：<sup>1</sup>阪大基礎工，<sup>2</sup>JASRI，<sup>3</sup>上智大理工，<sup>4</sup>東大工

受賞者のコメント

この度は、学生会員発表賞を頂き大変光栄に思っております。私の発表を評価して下さった方々に感謝するとともに、日々親切にご指導頂いた先生方、共同研究者の方々にお礼を申し上げます。今後より一層精進していきたいと考えております。ありがとうございました。

